

卒業するにあたって・・・

生涯教育専攻 4回生 松村 晴代

私が天理大学に入学してから、もう4年が経とうとしています。入学した頃は卒業するのはまだまだ先で、4年間は長いものだと思っていました。しかし、大学生活を通していろんな経験をしていくうち、日々1日が早く感じるようになり、4年間はほんとに一瞬でも卒業を目前に控えている時期にいるなんて信じられません。こんなに、時間が過ぎるのを早く感じられたのも、この天理大学でいろいろな経験をさせてもらったからだと思います。そんな充実した4年間で振り返ってみたいと思います。

では、なぜ今ここにいるのか。実は、最初は天理大学にくるなんて、さらには生涯教育を学ぶようになるなんて思ってもいませんでした。というのも、天理大学を受験したのも違う専攻に行きたかったからでした。生涯教育専攻を知ったのも、天理大学のオープンキャンパスに来てからでした。その時、私の運命を変えたオープンキャンパスでの先輩の一言でした。その先輩は私に言ってくれました。「生涯教育に入った授業でも発表する機会も多いから人前でしゃべれる勇気を持つことができるよ。」と。あがり症で人前に出ると緊張してしまい、それをコンプレックスに思っていた私にはとても魅力的な言葉でした。そして、第一志望を受験した結果は「不合格」。滑り止めで受けた、生涯教育専攻に来ることになりました。しかし、生涯教育でしか経験できなかったこともたくさんあるし、生涯教育に入ったから、生涯教育のみんなに出会うことができました。なので、今となっては生涯教育に入学することは出来て良かったと心から思います。

そして、不安と期待を胸に入学した1回生の頃。新入生歓迎合宿、新入生歓迎会、生涯教育専攻合宿、ソフトボール大会など、会う人、見るもの全てが新しく、毎日が楽しくて仕方ありませんでした。そんな中、先輩や友達の誘いで三矢会に参加するようになりました。最初、学科会と聞いたときは何のことかわからず、とりあえず参加してみよう感じでした。いろんな行事に参加していくうちに、他専攻や他学科の知り合いも増え、入学したての不安は一気に消え去りました。そして、この三矢会との出会いがその後の大学生活を大きく変えることとなりました。また、この頃もう1人との出会いが私にとって運命の出会いとなりました。この頃、楽しかったこともたくさんあった反面、辛くてしんどい時もありました。そんな時、私を側で支えてくれていた友人がいました。大学に入っ

てこの友人と出会えたことは私にとって、かけがえのないものとなりました。この友人は私が辛いとき、悲しいときいつも側で励まして支えてくれました。それは、この1回生の頃だけでなく、4年間ずっと今も変わらず支えてくれています。そんな友人に私は心から感謝をしています。

そんな、大切な出会いをした1回生から無事迎えることのできた2回生の頃。大学生活にも慣れて後輩もでき、三矢会の幹部になっていました。1年前までは招待されていた行事にも招待する側になり、今までとはまた違った行事の楽しみ方をできるようになった年でした。しかし、学科会で幹部をしていたとは言え先輩の下で動いたので、それほど強い責任感もなく、この2回生の頃が大学生活の中で最ものおんきな1年だったのかもしれませんが。そして、迎えた3回生。この頃、私は三矢会の副会長になっていました。2回生の冬から副会長になり、やらなければいけないことも多くなり、この頃から時間が過ぎるのが早く感じるようになったのかもしれませんが。1、2回生の頃とは違って自分達で行事の企画や運営を行わなければいけなくなり、副会長という役職のため責任も大きくなり失敗することもありましたが、周りのみんなに助けをもらいながらも充実した日々を送っていました。今、振り返ってみると私はほんとに何もできなくて自分が副会長になって良かったのかはわかりません。でも、この1年間でほんの少しだけ成長できたように思います。

そして、ついに卒業を迎えた4回生の今。この年、私はみんなから遅れて学生自治会に入ることとなりました。1回生の頃から、みんなで騒いだり何かをすることが好きだった私は誘われるがまま学生自治会へと足を踏み入れることとなりました。最初はとまどうことや不安もたくさんありましたが、自治会のみんなの支え、家族の支えもあって徐々にそんな不安もなくなっていきました。この自治会を通じて、私はさらにいろんな人と出会うことができ、貴重な経験をすることができました。自治会をしていく上で、楽しいことはもちろんたくさんありました。もちろん、失敗したことや辛かったこともたくさんありました。「もうやめたい。」「なんでこんなことしてるんやろ。」と思うこともたくさんありました。でも、辛いことよりも楽しいことの方が多かったし、何よりも周りのみんなに支えられました。自治会のみんなも、家族も、そして生涯教育のみんなも。私が自治会の仕事で疲れた顔をして共同研究室に入っていくと、「がんばりや！」って声をかけてくれて子がいて、それがほんとに嬉しくて「がんばろ！！」と元気を何度ももらいました。自治会に入って、「私はみんなに支えられて生きてるんだ。」とほんとに実感させられました。何をしても失敗ばかりする私を周りのみんなはいつも助けてくれていました。自分1人で生

きてるのではないんだと実感させられて、これまでわたしを支え、助けてくれた全ての人に心から感謝した年でした。

この天理大学での4年間を振り返ってみて、ここでは書ききれないくらいいろんな経験をして、たくさんの思い出を作りました。天理大学でしか経験できなかった学科会活動や、生涯教育専攻で行事、そして学生自治会活動。4年間振り返ってみて、後悔したことはないとは言いきれないかもしれないけど、ほんとに充実した時を過ごすことができ、少しはこの4年間で成長できたかなと思います。そして、何よりもこの4年間で私は「宝物」を見つけることができました。それも、たくさん。「思い出」_、「貴重な経験」_、「自信」_、「勇気」_、「友人」_、まだまだたくさん的一生の宝物を見つけることができました。なので、後輩のみんながこれを読んでくれていたら言いたいことがあります。失敗しても、しんどくても、どんどんいろんなことにチャレンジして行ってほしいと思います。そしたら、きっと何か一生の宝物になるものがみつかると思います。だから、みつけてください。みつけてほしいです。そして、「天理大学に来て良かった。」と思える大学生活にしてください。そして、最後になりましたが、こんなバカな私を4年間指導して下さった先生方、生涯教育のみんな、天理大学の友達みんな、お姉ちゃん、そしてこんな素敵な大学に通わせわけてくれた両親にお礼を言いたいです。ほんとにありがとうございました。この4年間で出会った全ての人に感謝です。ほんとに、言葉では言い表せないほどの感謝でいっぱいです。ほんとにありがとうございました。